事務事業評価シート（１／２）

令和 6年 9月18日

整理番号	0023				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	仲川　慶
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	岸田　幸子
事務事業番号	00254	防犯推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	001　防犯活動の強化				
事務事業	001　防犯推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市生活安全条例、大津市暴力団排除条例、補助金等交付規則				
事業概要	（事業概要） 市民が安心して生活することができる安全な地域社会を実現するため、防犯に関する意識の啓発及び自主的な防犯活動に対する支援を行うことにより、市民ひとりひとりの防犯に対する気運の醸成を図る。また、安全で安心なまちづくりに関する警察との連携協定に基づく取組みの推進や関係機関との連携を強化することで犯罪の防止に取り組み、犯罪のないまちを目指す。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 刑法犯認知件数は、平成２５年以降、減少傾向が続いていたが、令和３年から増加に転じた。特殊詐欺は手口が巧妙化し、犯罪傾向に合わせた防犯対策が必要である。また、犯罪抑止等を目的とした防犯カメラ設置のニーズが増している。 （見直しや改善等の経過） 令和３年１月に締結した「大津市と大津警察署及び大津北警察署との安全で安心なまちづくりに関する協定」に基づき、毎年実施している政策協議において、現状や課題を確認し、防犯対策に連携して取り組んでいる。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民、大津市防犯協会、自主防犯活動団体などを対象に
目的（何のために）	犯罪のない安全で安心な地域社会を実現するために
手段（どのようなやり方で）	警察等の関係機関と連携した啓発活動の展開や、自主防犯活動団体の活動支援等をすることで
成果（どのような状態にするのか）	市民の防犯意識を高揚させ、地域の防犯力を向上させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	30,917	27,376	27,708	31,489	31,489	31,489	31,489
事業費	18,061	14,216	16,410	18,329	18,329	18,329	18,329
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,245	400	400	1,268	1,268	1,268	1,268
一般財源	16,816	13,816	16,010	17,061	17,061	17,061	17,061
人件費計	12,856	13,160	11,298	13,160	13,160	13,160	13,160
事務・技術（人）	1.37	1.40	1.03	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.70	0.70	1.02	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0023
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00254　防犯推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-01-00	防犯推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00 34.00	36.00 34.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
(成果)人口１万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	46.00 50.30	45.00 56.03	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域や関係機関が相互に連携し幅広い活動ができている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	犯罪件数が増え目標に達していないが未然防止に活きている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の実状に応じた自主防犯活動の支援を行えている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	防犯意識の高揚のための啓発が生活安全の推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	「自分たちの住むまちの安全は自分たちで守る」という地域の防犯意識を高めるため、自主防犯活動団体への支援を継続するとともに、警察等の関係機関と緊密に連携し、犯罪の特性や発生状況に応じた取組みを展開していく必要がある。 また、犯罪の手は巧妙かつ多様化しており、犯罪の発生や防犯対策、不審者に関する情報をリアルタイムに発信し、市民の防犯力を向上させていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	警察や防犯協会等の関係機関、地域との連携を密にし、手口が巧妙化する特殊詐欺等の犯罪特性や発生状況に対応した啓発活動に取り組むこと。生活安全ポータルサイトやメール配信、SNSを活用したリアルタイムで分かりやすい情報発信に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00254　防犯推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00 34.00	36.00 34.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例に基づく防犯組織						
(成果)人口１万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	46.00 50.30	45.00 56.03	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00	44.00 0.00
	指標説明	１～１２月の市内における人口１万人あたりの　犯罪発生（認知）の件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 6年 9月18日

整理番号	0024				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	仲川　慶
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	岸田　幸子
事務事業番号	00294	交通安全推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	002　交通安全のまちづくり				
事務事業	001　交通安全推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	交通安全対策基本法				
事業概要	（事業概要） 警察、交通安全協会等の関係機関と連携した全国交通安全運動、交通安全県民運動、近江路交通マナーアップ運動に加え、市独自の「ゆりかもめ運動」等の啓発活動を実施するとともに、未就学児やその保護者、高齢者等、発達の段階に応じた交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚につなげる。 また、交通安全協会、水上安全協会の活動に対する財政的支援により、啓発活動の効果を高める。さらに令和４年４月施行の大津市交通安全基金を活用し事業化していく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市内の交通事故件数は減少し死傷者数は横ばいであるが、重傷者数の増加が課題である。 （見直しや改善等の経過） 交通事故のない安全で安心な地域社会の実現に向け、第１１次大津市交通安全計画に対応した各事業を交通安全基金を活用し実施した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民及び事業者等を対象に
目的（何のために）	交通事故のない安全・安心な地域社会を実現するために
手段（どのようなやり方で）	啓発活動の実施や交通安全教室の開催、交通安全協会への支援をすることで
成果（どのような状態にするのか）	市民の交通安全意識が高揚し、交通ルールの遵守と交通マナーの実践が進む。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	223,470	33,733	42,985	36,988	36,988	36,988	36,988
事業費	205,941	15,397	24,585	18,652	18,652	18,652	18,652
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,701	9,248	18,405	12,500	12,500	12,500	12,500
一般財源	199,240	6,149	6,180	6,152	6,152	6,152	6,152
人件費計	17,529	18,336	18,400	18,336	18,336	18,336	18,336
事務・技術（人）	1.52	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.83	1.83	1.85	1.83	1.83	1.83	1.83
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

令和 6年 9月18日

整理番号　0024
評価年度　令和 5年度　　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-05-00	交通安全推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00 114.00	120.00 120.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00 100.00	240.00 85.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00
(成果)交通事故負傷者数	人	948.00 752.00	915.00 768.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00 6.00	5.00 8.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市、市民、警察等の関係機関が相互に連携し取り組んでいる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	死亡者数、負傷者数が増加しているため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	警察等と連携を図り、交通安全基金を活用した取り組みをしている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	交通安全条例に基づく取り組みを通じて、意識醸成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	幼児・保護者、園職員向けの交通安全教育や様々な機会を通じた啓発活動、警察署や交通安全協会等の関係機関と連携強化を推進するとともに、大津市交通安全条例の制定に合わせ交通安全基金事業パッケージを展開し、実行性ある取り組みを実施した。しかしながら、交通事故に伴う死亡者数は横ばいであり、特に重傷者数が高止まりしている点から、第１１次大津市交通安全計画に基づき、交通事故状況に応じた効果的な取り組みを更に推進していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	第１１次大津市交通安全計画に基づく各種施策について、大津市交通安全基金を活用して計画的に事業化をし、着実に推進していくこと。特に、計画の目標である重傷者数に関しては、増加傾向にあることから事故発生の状況を分析し、警察等の関係機関とも連携し、効果のある啓発活動などに取り組むこと。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00 114.00	120.00 120.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	交通安全教室１教室実施で１回						
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00 100.00	240.00 85.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00	240.00 0.00
	指標説明	街頭啓発活動に従事した人数						
(成果)交通事故負傷者数	人	948.00 752.00	915.00 768.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00	882.00 0.00
	指標説明	交通事故負傷者件数とは、「重傷者」と「軽傷者」の合計数						
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00 6.00	5.00 8.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	上記事故によって２４時間以内に死亡した者の数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 6年 9月18日

整理番号	0025				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	仲川　慶
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	上田　義貴
事務事業番号	00614	自治会育成事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001　地域コミュニティの充実				
事務事業	004　自治会育成事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び要綱				
事業概要	（事業概要） 自治会の組織化の促進と育成を図るため、市の広報紙、各種回覧物の配布をはじめとする市政運営の協力及び地域における様々な取り組みや活動に対して報償金を交付し、自治会拠点施設の設置・改造に対する「ふれあいの家設置事業補助」や「ふれあい掲示板設置事業費補助」を実施している。また、負担軽減や活性化を目的とした自治会活動のデジタル化について、「自治会等ふれあいネット導入支援事業」としてデジタル化の手法を学ぶ研修会や導入経費の一部補助を実施している。大津市自治連合会に対しては、各学区間の連絡調整や市政運営上の諸施策の協力について助成を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化により、自治会役員の固定化や高齢化による担い手不足が課題となる中、自治会加入率は減少していることから、多くの市民が自治会活動に参加しやすい環境を創出していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 市からの依頼事項や行政協力委員の見直しによる負担軽減や、自治会活動の好事例集の作成や自治会活動のデジタル化に関する研修会及び補助を開始し、地域住民が自治会活動に参加しやすい環境づくりを進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自治会、自治会長、学区自治連合会、学区自治連合会長、大津市自治連合会等を対象に
目的(何のために)	市政運営を円滑に推進し、自治会活動の活性化、地域住民の自治意識や連帯意識の高揚を図るために
手段(どのようなやり方で)	報償金及び補助金による支援策を講じることで
成果(どのような状態にするのか)	地域活動基盤の充実や自治会活動の活性化が図れる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	115,886	127,617	124,635	119,109	119,109	119,109	119,109
事業費	103,490	115,737	112,755	107,229	107,229	107,229	107,229
国庫支出金	3,376	10,637	750	0	0	0	0
県支出金	1,941	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	6,000	9,600	5,000	5,000	5,000	5,000
一般財源	98,173	99,100	102,405	102,229	102,229	102,229	102,229
人件費計	12,396	11,880	11,880	11,880	11,880	11,880	11,880
事務・技術（人）	1.47	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0025
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00614　自治会育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-16-00-01-00	自治会育成事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00 12.00	15.00 18.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	12.00 10.00	12.00 10.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(成果)自治会数	件	725.00 724.00	725.00 723.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00
(成果)自治会加入率	%	57.10 54.50	58.05 52.50	59.02 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域の基盤であり担い手育成や活性化を図ることは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	加入率は減少しているものの、自治会数は維持している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	自治会館や掲示板への補助は地域活動の充実に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	自治会の支援・育成は地域コミュニティの充実に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	自治会拠点施設の設置・改造に対する「ふれあいの家設置事業補助」や「ふれあい掲示板設置事業費補助」の補助事業により自治会活動を支援するとともに、現在作成中である自治会活動好事例を他学区へ展開することや自治会活動のデジタル化の促進によって自治会活動の負担軽減に繋げることにより、多くの市民が自治会活動に参加しやすい環境を創出していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	地域コミュニティの維持、活性化に向け、大津市自治連合会とも連携し、自治会活動への支援に取り組むとともに、ICTを活用した多様な主体が活動しやすい環境づくりにも取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00614　自治会育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00 12.00	15.00 18.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	ふれあいの家設置事業費補助金交付件数						
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	12.00 10.00	12.00 10.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	ふれあい掲示板設置事業費補助金交付件数						
(成果)自治会数	件	725.00 724.00	725.00 723.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00
	指標説明	市内自治会設置数						
(成果)自治会加入率	%	57.10 54.50	58.05 52.50	59.02 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	自治会加入世帯数／住民基本台帳世帯数						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0026				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	仲川　慶
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	上田　義貴
事務事業番号	00620	交流（コミュニティ）施設管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	001　地域コミュニティの充実				
事務事業	001　交流（コミュニティ）施設管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市滋賀里交流センター条例、木戸交流センター条例				
事業概要	（事業概要） 地域コミュニティ施設として、地域住民の親睦を深め、人と人との交流により地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした、滋賀里交流センター、木戸交流センター、堅田なぎさ苑の管理運営事業。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 交流施設は地域住民等のふれあいの場として活用されるものであるが、年々その利用者数が減少傾向にある。利用者数や貸室稼働率を向上させるため、地域住民等のニーズを汲み取り、居心地の良い環境と安心できる施設運営を行う必要がある。 （見直しや改善等の経過） 木戸交流センターは指定管理者からの事業提案に基づく利用促進に取り組み、滋賀里交流センターは地域交流施設として地域に運営委託し、堅田なぎさ苑は令和２年度に老朽化に伴う解体を行い、地域交流広場として活用していく。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	地域住民、地域コミュニティ活動を対象に
目的（何のために）	地域交流によるまちづくりを推進するために
手段（どのようなやり方で）	地域コミュニティの場を提供することで
成果（どのような状態にするのか）	住民の主体的なまちづくり活動が活性化する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	14,192	13,052	11,656	13,089	13,089	13,089	13,089
事業費	5,456	5,954	7,518	8,951	8,951	8,951	8,951
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	59	56	30	30	30	30	30
一般財源	5,397	5,898	7,488	8,921	8,921	8,921	8,921
人件費計	8,736	7,098	4,138	4,138	4,138	4,138	4,138
事務・技術（人）	1.12	0.91	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0026
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-06-00-25-00	交流（コミュニティ）施設管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)施設利用者数	人	5,100.00 5,271.00	5,300.00 5,407.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00
(活動)開館日数	日	570.00 592.00	570.00 671.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00
(成果)一日当たりの利用者数	人	9.00 7.80	9.00 8.90	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域コミュニティの維持や地域活動の活性化に繋がるものである			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	利用率は脱コロナで上昇したＲ4と比べてもあまり減少していない			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の運営委員会へ委託、指定管理により効率的に運営している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	活動拠点として住民交流の活動に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	滋賀里交流センターは、地域コミュニティ施設として各種団体による利用が定着しており、さらなる利用促進を図っていく必要がある。 堅田なぎさ苑は地域交流の広場として環境を整え、管理運営を地域に委託している。 木戸交流センターについては、施設の必要性等を検討していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	地域のコミュニティ施設として各種団体等による利活用の促進を図るとともに利便性及びサービスの向上に取り組むこと。また、木戸交流センターについては、施設の必要性、活用方法等を検討していくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)施設利用者数	人	5,100.00 5,271.00	5,300.00 5,407.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00	5,300.00 0.00
	指標説明	延べ施設利用者数　※平成３０年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						
(活動)開館日数	日	570.00 592.00	570.00 671.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00	570.00 0.00
	指標説明	延べ開館日数　※平成３０年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						
(成果)一日当たりの利用者数	人	9.00 7.80	9.00 8.90	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00
	指標説明	施設を利用した延べ数／延べ開館日数　※平成３０年度末をもって堅田なぎさ苑は利用終了。						

IP27P050

事務事業評価シート（1／2）

令和 6年 9月18日

整理番号	0027				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	仲川　慶
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	熊田　菜津子
事務事業番号	03419	自主運営試行事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002　協働の推進				
事務事業	008　自主運営試行事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 公民館をコミュニティセンター化し、地域による自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的とした大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化など社会環境の変化とともに、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせたまちづくりが必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 自主運営試行事業において運営ノウハウを習得することで、コミュニティセンター移行後も適切な管理運営の実施につながるよう必要な支援を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	公民館管理・運営業務の一部を
目的（何のために）	地域による自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的に
手段（どのようなやり方で）	地域団体に委託することで
成果（どのような状態にするのか）	コミュニティセンターの自主運営のための組織づくりと運営ノウハウの習得を行い、コミュニティセンター化及び自主運営への移行を目指していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	7,499	3,938	3,959	4,129	4,129	4,129	4,129
事業費	3,133	1,590	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,133	1,590	1,781	1,781	1,781	1,781	1,781
人件費計	4,366	2,348	2,178	2,348	2,348	2,348	2,348
事務・技術（人）	0.52	0.26	0.23	0.26	0.26	0.26	0.26
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.12	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0027
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-35-21-00-04-00	自主運営試行事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)公民館自主運営モデル事業参加数	学区	5.00 4.00	4.00 2.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
(成果)目標達成率	%	100.00 80.00	100.00 50.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	コミュニティセンター運営のノウハウを取得する機会となっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	将来的にコミュニティセンターの運営受託を目指す学区が活用			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	公民館業務について、地域が主体的にノウハウを学ぶことができる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域活動の活性化による協働のまちづくりの推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	多くの学区において、自主運営試行事業に取組んだ後、公民館からコミュニティセンターへの移行とまちづくり協議会による管理運営の受託に進んでおり、今後も、組織づくりや運営ノウハウを習得できる機会として希望する学区が活用できるよう継続していく。 また、一定期間継続して事業を実施している学区に対して、次年度以降の方針を個別に協議し、必要性を判断する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	地域の希望に応じて、公民館から地域が管理運営するコミュニティセンターへ適切に移行できるよう、組織づくりや管理運営のノウハウを学べる機会として継続するとともに、必要な支援に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)公民館自主運営モデル事業参加数	学区	5.00 4.00	4.00 2.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	公民館自主運営モデル事業の参加学区数　※令和２年度以降は公民館自主運営試行事業の参加学区数						
(成果)目標達成率	%	100.00 80.00	100.00 50.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	公民館自主運営モデル事業の参加学区目標達成率　※令和２年度以降は公民館自主運営試行事業						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0028				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	仲川　慶
所属	1130	市民部自治協働課		記入者	熊田　菜津子
事務事業番号	04026	コミュニティーセンター管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支えあうまちにします				
施策	011　協働のまちづくりの推進				
取組の方向性	002　協働の推進				
事務事業	007　コミュニティーセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市コミュニティセンター条例、大津市コミュニティセンター管理運営業務委託事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 地域の実情に合わせてコミュニティセンターを設置し、まちづくり協議会に運営を委託することにより、まちづくり活動の拠点としての機能を活かし、地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化、超高齢化社会の進行、また住民ニーズやライフスタイルの多様化により、地域では担い手不足や活動の継続が困難となる中、地域の実情に合わせたまちづくりが必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 公民館のコミュニティセンターへの移行については、地域と協議を重ねながら、地域の実情に合わせて進めており、地域の力でコミュニティセンター事業が充実するよう進めてきた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	コミュニティセンターの管理運営業務を
目的（何のために）	地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進するために、
手段（どのようなやり方で）	まちづくり協議会に委託することで、
成果（どのような状態にするのか）	コミュニティセンターにまちづくりの担い手が集い様々な地域活動が活発に行われるなど、地域のまちづくりの活動拠点としての機能を活かし、多様な主体による協働のまちづくりを推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	89,251	109,599	123,868	142,553	142,553	142,553	142,553
事業費	57,760	78,079	96,886	110,653	110,653	110,653	110,653
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,834	4,101	4,278	4,813	5,348	5,883	5,883
一般財源	53,926	73,978	92,608	105,840	105,305	104,770	104,770
人件費計	31,491	31,520	26,982	31,900	31,900	31,900	31,900
事務・技術（人）	2.52	2.70	2.70	3.15	3.15	3.15	3.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.20	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
会計年度任用（人）	3.45	2.20	0.96	1.40	1.40	1.40	1.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0028
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-55-00-01-00	コミュニティセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	14.00 14.00	15.00 16.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)地域による自主運営実施数	学区	14.00 14.00	15.00 16.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	まちづくり協議会による運営で、地域の拠点として機能している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	担い手が集い活動することが、協働のまちづくりの推進に繋がる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体を包括したまちづくり協議会が運営するため効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域活動の拠点として、協働のまちづくりの推進につながる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	地域の実情に応じて１６学区において公民館からコミュニティセンターへの移行が図られ、地域の主体的な協働のまちづくりを推進するための基盤ができつつある。今年度は、コミュニティセンター条例の施行期限の見直しを行い、地域コミュニティについて、地域が主体となり、地域の特色や実情に合わせた取り組みが進むよう、必要な対応に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	各学区の自治を尊重し、大津市コミュニティセンター条例の移行期限の見直しを行うこと。また、コミュニティセンターについて、まちづくり活動の拠点としての機能を活かす運営に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	14.00 14.00	15.00 16.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	地域の実情に合わせた公民館のコミュニティセンター化実施学区数						
(成果)地域による自主運営実施数	学区	14.00 14.00	15.00 16.00	19.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	地域の主体的なまちづくり活動の拠点としての自主運営実施数						

事務事業評価シート（1／2）

令和 6年 9月18日

整理番号	0029				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	井上　正道
所属	1168	市民部市民相談室		記入者	齊藤　美紀
事務事業番号	01217	広聴及び市民相談事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	035　開かれた市政の推進				
取組の方向性	002　オープンデータ等による市政情報の発信				
事務事業	008　広聴及び市民相談事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 本市の市政及び事務事業全般に係る広聴活動や、市民の日常生活の中で行政に関わるものも含めた相談業務を実施している。広聴活動では、個別広聴として「市民の声」、集団広聴として「学区要望」を実施している。また、相談業務では、一般相談や特別相談などの受動的相談と、大津市コールセンターＦＡＱ掲載やくらしの便利帳発行などの能動的相談を実施しており、特別相談では、市が介入することが出来ない市民の抱える諸問題の解決の一助として専門家への相談の機会を提供している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 複雑化する要望や意見等を市政へ反映するための手法や、生活様式が多様化する中、市民が抱える問題を解決するため専門家に相談する機会の確保が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和２年度は、特別相談では、終活や相続の多様な相談の需要に応えるべく、司法書士による「相続手続相談」を開設した。令和３年度より、市民相談室やコールセンターなどに寄せられ、蓄積された「市民の声」を整理することで、「市民サービスの向上」や「職員負担の軽減」に繋がるよう努めた。また、学区要望では、修繕依頼を通年で行えるように変更し、対応の迅速化を図った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市民からの要望や意見などを市政や事務事業等に反映するため、また、市が介入することができない市民からの相談を解決するため。
手段（どのようなやり方で）	市民から寄せられる要望や意見等を迅速に担当部局に伝達するとともに、コールセンターなどに寄せられた「市民の声」を統計的に分析して事務事業等に反映させる仕組みを運用し、進捗及び結果について広報広聴推進本部会議で共有する。また、弁護士、税理士、司法書士等の専門家による定期的な特別相談を開設する。
成果（どのような状態にするのか）	市民からの要望や意見等が、事務事業に反映される。また、市民の抱える問題の早期解決に繋がる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	35,708	26,348	28,661	28,011	28,011	28,011	26,451
事業費	10,488	6,496	7,581	6,931	6,931	6,931	6,931
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,488	6,496	7,581	6,931	6,931	6,931	6,931
人件費計	25,220	19,852	21,080	21,080	21,080	21,080	19,520
事務・技術（人）	2.19	1.52	1.80	1.80	1.80	1.80	1.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.65	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.43	1.43	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0029
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-01-00	広聴及び市民相談事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)市民相談対応件数	件	4,200.00 3,388.00	4,200.00 3,795.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00
(成果)特別相談（委託料分）利用率	%	90.00 76.67	90.00 93.37	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が主体的に市政運営に関する広聴活動を実施するのは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	専門家への相談機会は市民が住みやすいまちづくりに有効である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	市民の声を事務事業に反映する仕組み運用で効率性を高める。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の抱える課題の早期解決を図り各施策実施に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	コールセンターや市民相談室などに寄せられた要望、意見などの「市民の声」を整理して事務事業に反映させる仕組みを運用するとともに、市民が抱える様々な問題の早期解決が図れるよう、専門家による相談機会を提供する。これらの広聴活動、相談業務を推進することで、市民ニーズに応じたより適切な市民サービスに努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ライフスタイルや価値観の多様化により、市民の意見も様々であることから、意見の一つ一つに丁寧に耳を傾け、市民の立場に立って、担当課や関係機関につなぐなど、適切な業務を遂行すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)市民相談対応件数	件	4,200.00 3,388.00	4,200.00 3,795.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00
	指標説明	一般相談＋特別相談						
(成果)特別相談（委託料分）利用率	%	90.00 76.67	90.00 93.37	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	年間利用件数／年間開設件数						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0030				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	井上　正道
所属	1168	市民部市民相談室		記入者	齊藤　美紀
事務事業番号	02581	コールセンター管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	035　開かれた市政の推進				
取組の方向性	002　オープンデータ等による市政情報の発信				
事務事業	007　コールセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 電話、ファクシミリ及び電子メールによる問合せ等を一元的に受け付け、より迅速で適切な電話対応及びスムーズな担当課への引継ぎを実現し、市民サービスの向上及び職員の負担軽減、また市民の声の蓄積による事務事業の改善を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ライフスタイルや市民生活における情報ニーズが多様化する中、市の事業等に関する問い合わせも多種多様である。このことから、市に対する電話等の問い合わせの最初の窓口として、柔軟かつ丁寧で質の高いサービスの提供が求められる。 （見直しや改善等の経過） 令和５年度１０月より、公募型プロポーザルにより選定した受託者によって運営している。毎月、事業者との定例会において業務の報告を受け、改善を図るとともに、オペレーターのスキルアップやＦＡＱの充実に取り組むことで、市民サービスの向上に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市に連絡をいただいた方に
目的（何のために）	市民サービスが適格に提供できるため、また、行政事務の効率化を図るため
手段（どのようなやり方で）	コールセンターを設置して代表電話やメールを一元的に受け付けて、コールセンターにおいてＦＡＱなどの行政情報により回答可能なものは回答完了し、回答不可能なものは業務所管課へ的確に転送することで
成果（どのような状態にするのか）	問合せ窓口のワンストップ化や、高い電話応対技術による標準化された回答により、市民サービスが向上する。 さらに、コールセンター回答率を高めることで、市の業務所管課の対応に係る負担が軽減する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	61,094	75,487	79,917	81,477	81,477	81,477	83,037
事業費	56,171	63,721	73,401	73,401	73,401	73,401	73,401
国庫支出金	0	265	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,482	4,523	4,623	4,623	4,623	4,623	4,623
一般財源	52,689	58,933	68,778	68,778	68,778	68,778	68,778
人件費計	4,923	11,766	6,516	8,076	8,076	8,076	9,636
事務・技術（人）	0.50	1.30	0.70	0.90	0.90	0.90	1.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 6年 9月18日

整理番号　0030
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-02-00	コールセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)応答率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		90.20	92.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)着信しオペレーターが応答するまでの平均時間	秒	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		8.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)市民満足度総合評価（５点満点）	%（点）	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.98	4.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)コールセンター回答率（令和５年度より適用）	%	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		0.00	93.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	専門的な事業者へ委託することにより、迅速丁寧な対応ができる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	オペレータースキル向上により、市民満足度も高評価を得ている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	応対品質向上とＦＡＱの充実でサービス向上と事務効率化を図る。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民サービス向上と職員の負担軽減に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民からの電話やメール等による問い合わせを一元的に受け付け、迅速で丁寧は対応により、回答の完了及び担当課への引き継ぎを適切に実施し、市民サービス向上と職員の負担軽減に寄与している。また、オペレーターのスキルアップやＦＡＱの充実に努めている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	コールセンターの応対品質向上を進めるとともに、応対履歴の整理による事業者の提案により、行政サービスの向上と職員の負担軽減を図ること。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民相談室
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)応答率	%	90.00 90.20	90.00 92.60	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	応答件数／着信件数						
(活動)着信しオペレーターが応答するまでの平均時間	秒	20.00 8.00	20.00 7.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	コールセンターが着信しオペレーターが応答するまでの平均時間（計算式　合計応答時間÷応答件数）						
(成果)市民満足度総合評価（５点満点）	%（点）	4.00 4.98	4.00 4.92	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	市民満足度総合評価（５点満点）の平均点数						
(成果)コールセンター回答率（令和５年度より適用）	%	0.00 0.00	90.00 93.60	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	市民からの依頼による転送を除きコールセンターで回答できた件数の割合（品質評価基準の中で重要な項目であることから令和５年度より適用）（回答完了応対時間は品質評価基準にない数値の為令和５年度で終了する）						
(成果)回答完了応対時間（令和５年度で終了）	時間	5,000.00 1,544.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	オペレーターで回答完了した電話の年間応対時間（スキル向上及びＦＡＱ充実により時間が短縮）（品質評価基準にない数値のため、令和５年度で終了する）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 6年 9月18日

整理番号	0031				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	樫田　八知栄
所属	1119	市民部文化振興課		記入者	椚座　大介
事務事業番号	00766	市展・文化祭・写真展等事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	001　市展・文化祭・写真展等事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化芸術基本法				
事業概要	（事業概要） 美術展覧会・写真展覧会並びに短歌・俳句大会、湖都の文学の発刊等、市民に日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、市民の主体的な文化活動を支援する。また、各学区の文化団体や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対して補助を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 美術展、写真展等への出品や文化祭への参加は高齢者が多く、次世代を担う若年層の文化活動への継続的な働きかけが求められている。 （見直しや改善等の経過） 美術展や写真展の出品数を増やすため、募集要項を定める会議を例年よりも１か月以上前倒しして実施し、作品の募集開始時期を早めている。また、若年層の参加促進を図るため、美術展や写真展のＵ―３０奨励賞を継続するとともに、ＳＮＳやメディアを活用した情報発信を行うことで、興味喚起に取り組んだ。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市展・写真展：県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者を対象に 文化祭：学区文化団体及び芸術文化団体を対象に
目的（何のために）	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活動を支援するために
手段（どのようなやり方で）	市展・写真展：公募により作品募集を行い、入選作品を展示するとともに、優れた作品に対し、賞を授与し 文化祭：地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付することで
成果（どのような状態にするのか）	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	16,997	18,826	20,587	20,457	20,457	20,457	20,457
事業費	6,873	7,218	8,979	8,849	8,849	8,849	8,849
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,873	7,218	8,979	8,849	8,849	8,849	8,849
人件費計	10,124	11,608	11,608	11,608	11,608	11,608	11,608
事務・技術（人）	0.98	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16	1.16
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0031
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-03-00	市展・文化祭・写真展等事業費	市民部文化振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	11,700.00 8,915.00	11,700.00 9,240.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00
(活動)補助金交付団体数	団体	48.00 36.00	50.00 44.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
(成果)出品数	点	5,500.00 5,616.00	5,500.00 4,633.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
(成果)入場者数	人	14,000.00 20,059.00	16,000.00 33,587.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民・事業者・市の三者協働により推進しており妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	入場者数も増え、市民の文化芸術活動に活気が戻ってきている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	文化連盟・芸術団体の知見やノウハウを活用し、効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	成果を発表する場を提供し、文化芸術の振興に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	引き続き、多くの市民に日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図っていく。 また、令和６年度は歴史博物館や文化財保護課と連携し、歴史文化情報集約サイトを開設する。歴史・文化・芸術の魅力を直接的・視覚的に伝えるため、写真や動画を活用し、歴史・文化・芸術に関する情報を伝えやすい環境を整備する。市民ニーズやトレンドを的確にとらえ、特に若年層の文化芸術に対する興味関心を高めるため、ＳＮＳを活用した情報発信を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	美術展・写真展・文化祭は、実行委員会による運営で、大津市文化連盟及び各芸術文化団体の知見やノウハウを活用しながら、効率的な手法や参加促進のための方策を取り入れ一定の成果が見られる。今後も若年層の参加を促進する取組や文化・芸術の担い手育成等、文化の継承につながるような事業の推進に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	11,700.00 8,915.00	11,700.00 9,240.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00	11,700.00 0.00
	指標説明	市展・写真展、文化祭に係る要項、ポスターの配布数						
(活動)補助金交付団体数	団体	48.00 36.00	50.00 44.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	文化祭開催に対する補助金交付団体数（芸術文化団体、地域文化団体）						
(成果)出品数	点	5,500.00 5,616.00	5,500.00 4,633.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
	指標説明	市展・写真展・文化祭（短歌・俳句大会、湖都の文学）への出品数						
(成果)入場者数	人	14,000.00 20,059.00	16,000.00 33,587.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00	16,000.00 0.00
	指標説明	市展・写真展・文化祭への入場者数（令和３年度以降は学区・芸術団体の文化祭を含む）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 6年 9月18日

整理番号	0032				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	樫田　八知栄
所属	1119	市民部文化振興課		記入者	椚座　大介
事務事業番号	00778	文化振興事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	007　文化振興事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化芸術基本法				
事業概要	（事業概要） 「大津市文化振興計画」に基づき、文化振興の推進を図るため、文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、親子で参加できる伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施し、身近な鑑賞機会を提供する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） スマートフォンやＳＮＳ等のツールの発展や価値観の多様化に伴い、人々の生活様式や社会構造も変化していることなどを背景に、働く世代や子ども・若者の文化活動への参加が減少してきている。こうした社会環境の変化に対応するため、幅広い年齢層を対象とする文化活動への支援やきっかけづくりが求められている。 （見直しや改善等の経過） 文化団体派遣事業を継続実施し、身近な鑑賞機会の提供に努めた。また、「伝統文化親子教室」では体験できる伝統文化のジャンルを９つに拡充して開催し、伝統文化への興味喚起を図った。ＬＩＮＥ配信やナカマチ放送局のラジオ出演など、ＳＮＳやメディアを活用し、特に若年層への働きかけに取り組んだ。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民や文化団体等を対象に
目的（何のために）	文化活動を支援するために
手段（どのようなやり方で）	文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施することで
成果（どのような状態にするのか）	自主的な文化活動が促進されるとともに、市民にとって身近な鑑賞機会が提供される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	13,780	14,169	16,244	19,229	19,229	19,229	19,229
事業費	5,414	3,953	5,638	8,623	8,623	8,623	8,623
国庫支出金	3,008	767	709	557	557	557	557
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1,076	605	606	606	606	606
一般財源	2,405	2,110	4,324	7,460	7,460	7,460	7,460
人件費計	8,366	10,216	10,606	10,606	10,606	10,606	10,606
事務・技術（人）	0.85	1.08	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２/２）

令和 6年 9月18日

整理番号　0032
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00778　文化振興事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-01-00	文化振興事業費	市民部文化振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)共催・補助事業数	事業	6.00 6.00	6.00 7.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	120.00 125.00	150.00 129.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	25,000.00 6,000.00	8,000.00 10,923.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	105,000.00 111,719.00	110,000.00 158,240.00	120,000.00 0.00	130,000.00 0.00	150,000.00 0.00	150,000.00 0.00	150,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が支援することで、市民の文化芸術活動が活性化している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	後援や共催で支援することで、文化活動の裾野を広げている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	後援等による支援を行い、市民の文化活動を促進している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	文化活動が活性化し、身近に文化に触れる機会が創出されている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	「第３次大津市文化振興計画」に基づき、市民や文化団体の自主的な文化芸術活動を促進し、誰もが身近に文化・芸術に親しめる機会を創出する。文化芸術活動を担う人材の育成や支援はもとより、文化団体派遣事業等をはじめとした、文化芸術に触れる場の提供など、次世代を担う子どもや若者をはじめ、多くの市民が身近に文化芸術に触れることができる環境を充実させ、市民の文化芸術活動の振興を図っていくとともに、ＳＮＳやメディアを活用した情報発信を継続して実施し、特に若年層が文化芸術に触れるきっかけ作りに注力していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	若年層が文化・芸術に親しむ機会の充実や、市民や文化団体等による文化芸術活動への支援、歴史的、文化的資産を活用した施策との連携など、「大津市総合計画」および「第3次大津市文化振興計画」に基づき、総合的な文化行政の推進に努めること。		

IP27P041

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00778　文化振興事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)共催・補助事業数	事業	6.00 6.00	6.00 7.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	文化活動等に対する共催・補助事業数						
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	120.00 125.00	150.00 129.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	後援名義の使用承認数（及び賞を交付した件数）						
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	25,000.00 6,000.00	8,000.00 10,923.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
	指標説明	補助した団体等が行っている文化活動（催し等）の参加者数						
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	105,000.00 111,719.00	110,000.00 158,240.00	120,000.00 0.00	130,000.00 0.00	150,000.00 0.00	150,000.00 0.00	150,000.00 0.00
	指標説明	後援名義の使用を承認した催し等の入場者数						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0033				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	樫田　八知栄
所属	1125	市民部市民文化会館		記入者	宮崎　敬二
事務事業番号	00773	市民文化会館管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	005　市民文化会館管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	市民文化会館の設置及び管理に関する条例				
事業概要	（事業概要） 市民が安全かつ快適に文化活動ができる場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、市民文化会館の管理運営を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民や団体による芸術文化活動（ダンス・書道・絵画等）などの自発的活動の場が求められている。 （見直しや改善等の経過） 物価高によるコストの増大のため、省エネなど節電対策を行い、支出を抑制するとともに、施設の適切な維持管理に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民及び各種文化団体・サークル等に
目的（何のために）	文化活動の場を提供するため
手段（どのようなやり方で）	安全かつ快適な環境で文化活動ができるように、施設の提供を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	市民の文化の拠点施設として、市民を中心とした文化振興活動をより活発にする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	27,015	32,486	33,728	33,777	33,777	33,777	62,905
事業費	11,398	16,642	17,884	17,933	17,933	17,933	47,061
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	3,900	5,000	3,500	0	0	0
その他	2,488	3,259	2,487	2,505	2,505	2,505	2,505
一般財源	8,910	9,483	10,397	11,928	15,428	15,428	44,556
人件費計	15,617	15,844	15,844	15,844	15,844	15,844	15,844
事務・技術（人）	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0033
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1125　市民部市民文化会館
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-10-00	市民文化会館管理運営事業費	市民部市民文化会館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)貸室利用件数	件数	900.00 854.00	900.00 873.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00 94.89	100.00 97.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の自発的な文化活動を支える施設として利用されている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	文化活動の利用が増加している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	会計年度任用職員で日常の貸館業務等を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大津の多様な歴史文化に親しむ場を提供している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	令和５年度は、新型コロナウィルス感染症が第５類感染症に移行したことも影響して、目標値には届かなかったものの利用者は前年度より微増の状況であった。今後も利用しやすい施設環境を維持し、市民や各種団体の芸術文化活動に利用されるように努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	市民文化の向上及び発展のため、引き続き多くの方に会館を利用してもらえるように、施設の適切な維持管理と運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1125　市民部市民文化会館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)貸室利用件数	件数	900.00 854.00	900.00 873.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	多目的ホール・会議室・和室の年間利用件数（延べ件数）						
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00 94.89	100.00 97.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	貸室利用件数（実績）÷貸室利用件数（目標）						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0034				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	井口　敏行
所属	1126	市民部長等創作展示館		記入者	西辻　崇志
事務事業番号	00771	長等創作展示館維持管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	003　長等創作展示館維持管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市創作展示館条例				
事業概要	（事業概要） 長等の豊かな自然と歴史文化の中で美術工芸作品を鑑賞及び創作する場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、創作展示館を運営する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 来館者は比較的高齢者が多いため、幅広い世代の来館・利用に向けた取組が必要である。 （見直しや改善等の経過） 創作室においては活動中の絵手紙、水墨画、水彩画、陶芸の創作グループによる作品創作・展示及び合同作品展を開催し、展示室においては定期的に絵画の展示替えを行っているほか、他の文化施設等と連携することなどにより周知と誘客に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民等来館者を対象に
目的（何のために）	主体的に文化に触れ、学び、創作する場や機会を提供し、湖都文化の発展や理解推進に寄与するため
手段（どのようなやり方で）	作品展や絵画展等の企画展を随時開催するとともに、多様な広報や近隣施設等との連携を図り、市民等に美術工芸作品に関わる鑑賞及び創作する場や機会を提供することにより
成果（どのような状態にするのか）	市民等の心豊かで潤いのある生活、個性豊かで活力ある地域社会の創造を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	28,539	21,062	25,150	28,222	23,734	24,547	24,547
事業費	4,011	3,046	7,134	9,726	5,718	6,531	6,531
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,963	1,698	2,065	2,213	2,000	2,000	2,000
一般財源	2,048	1,348	5,069	7,513	3,718	4,531	4,531
人件費計	24,528	18,016	18,016	18,496	18,016	18,016	18,016
事務・技術（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務（人）	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
再任用（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	1.88	1.88	1.88	2.03	1.88	1.88	1.88
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0034
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1126　市民部長等創作展示館
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-01-00	長等創作展示館管理運営事業費	市民部長等創作展示館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)企画展等開催数	回	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)貸室使用件数	件	150.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00
		169.00	167.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	2,000.00	1,800.00	2,000.00	2,300.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,329.00	1,696.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)貸室使用者数	人	2,500.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		3,173.00	3,246.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	最小限の費用、人員により運営している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	情報発信等利用者の確保に努め、市民文化の向上に寄与している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	最小限の費用、人員により一定数の来館・利用者を確保している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民に文化芸術活動に親しむ機会が提供できている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	多様な広報手段の活用、周辺の文化観光施設や社寺等との連携等により当施設の一層の周知啓発を図り、訪れる方々が心地よく感じられる親切・丁寧な応対により、是非また訪れてみたいと満足いただける施設運営に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	令和７年度の長等創作展示館開館３０周年、三橋節子没後５０年の記念事業に向けた準備をしっかりと整え、多くの市民等が来訪され、文化に触れ、学び、創作する契機となるよう努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1126　市民部長等創作展示館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)企画展等開催数	回	3.00 3.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	展示室での企画展開催数						
(活動)貸室使用件数	件	150.00 169.00	160.00 167.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00
	指標説明	創作スペースの使用件数						
(成果)入館者数	人	2,000.00 2,329.00	1,800.00 1,696.00	2,000.00 0.00	2,300.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	美術館への入館者数						
(成果)貸室使用者数	人	2,500.00 3,173.00	3,000.00 3,246.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00
	指標説明	創作スペースの貸室使用者数						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0035				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	衣田　耕二
所属	8821	市民部仰木太鼓会館		記入者	衣田　耕二
事務事業番号	00775	仰木太鼓会館管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	020　文化・芸術に親しめる環境づくり				
取組の方向性	001　文化・芸術の振興				
事務事業	009　仰木太鼓会館管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市仰木太鼓会館条例				
事業概要	（事業概要） 仰木太鼓会館は、大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域の歴史および文化の理解を深める場として設置されたもので、仰木太鼓の練習等に活用されるよう施設の適正な管理を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 時代の変遷により若者達から太鼓離れの様子が見られるなか、市指定無形民俗文化財である仰木太鼓を市の文化財として保存継承すべきとの気運が高い。 （見直しや改善等の経過） 仰木太鼓保存会に関する利用を優先しつつ、住民の福祉向上に寄与する利用など、会館利用の広報活動を行い、利用率の向上に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図る場を提供するために
手段（どのようなやり方で）	施設の適正な管理等、仰木太鼓の練習等のための場所を提供することで
成果（どのような状態にするのか）	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓が継承されるとともに、仰木地域の歴史及び文化への理解が深まり、市民文化が向上する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	4,385	5,216	4,768	7,955	4,832	4,832	4,832
事業費	2,595	3,406	2,568	5,755	2,632	2,632	2,632
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	126	65	70	70	70	70	70
一般財源	2,469	3,341	2,498	5,685	2,562	2,562	2,562
人件費計	1,790	1,810	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
事務・技術（人）	0.15	0.15	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0035
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　8821　市民部仰木太鼓会館
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-20-00	仰木太鼓会館管理運営事業費	市民部仰木太鼓会館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)施設利用件数	件	200.00	200.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		142.00	128.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)施設利用人数	人	7,000.00	7,000.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
		4,855.00	5,919.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間利用件数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		71.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間利用人数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		69.35	84.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	仰木太鼓を伝承する保存会が管理するのは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	保存会の活動により仰木太鼓の継承が図られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	保存会は仰木太鼓の保存と継承の知識経験を有している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域文化の拠点、地域住民のふれあいの場として機能している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を推進するため、仰木太鼓保存会との連携を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により近年十分活動ができなかった地域行事等についても、昨年度から、従来通りの地域活動が再開されていることから、改めて地域における利用促進に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	伝統文化の継承を担う仰木太鼓保存会との連携を維持し、地域住民の多様なニーズに応じた利用推進に努め、仰木太鼓に触れる機会を提供されるよう、施設の管理運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　8821　市民部仰木太鼓会館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)施設利用件数	件	200.00 142.00	200.00 128.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	年間利用件数（実績）						
(活動)施設利用人数	人	7,000.00 4,855.00	7,000.00 5,919.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）						
(成果)年間利用件数率	%	100.00 71.00	100.00 64.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年間利用件数（実績）÷年間利用件数（目標）×１００						
(成果)年間利用人数率	%	100.00 69.35	100.00 84.55	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）÷年間利用人数（目標）×１００						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0036				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	二ノ宮尚樹
所属	2406	市民部文化財保護課		記入者	福田敬
事務事業番号	00796	市内史跡等整備事業			

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画　第2期実行計画			
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します			
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信			
取組の方向性	001	歴史・文化遺産の保全			
事務事業	005	市内史跡等整備事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	文化財保護法				
事業概要	市内に残された史跡を公有化し、保存する。また、史跡公園として整備し、一般に公開することにより、市民の史跡に対する理解を深め、地域のまちづくり等にも活用する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	本市には多くの国指定史跡があり、保存のため公有化が必要な面積も大きい。また、指定に至っていない重要な土地も残されており、発掘調査の結果、所有者の同意を得て、追加指定を進めていく。 市街化区域ですでに宅地化されているところもあり、計画的に公有化を進めていく必要がある。 限られた予算の範囲内で、優先順位をつけて公有化を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に残された史跡等を対象に
目的(何のために)	史跡等を良好な形で守り伝えていくため
手段(どのようなやり方で)	土地の公有化と整備を進めることで
成果(どのような状態にするのか)	史跡等を適切に保存し、次世代へ継承していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	60,350	34,532	64,690	273,297	327,021	148,581	148,581
事業費	54,585	27,902	55,054	265,653	319,377	139,377	139,377
国庫支出金	43,564	20,901	42,739	202,144	237,596	87,596	87,596
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	4,300	7,800	7,800	7,800	7,800
その他	0	0	0	12,670	12,670	12,670	12,670
一般財源	11,021	7,001	8,015	43,039	61,311	31,311	31,311
人件費計	5,765	6,630	9,636	7,644	7,644	9,204	9,204
事務・技術（人）	0.50	0.85	0.87	0.98	0.98	1.18	1.18
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.30	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0036
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-85-57-00-04-00	市内史跡等整備事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	700.00 733.00	900.00 237.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	61.00 61.00	62.00 61.00	63.00 0.00	64.00 0.00	65.00 0.00	66.00 0.00	66.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国指定史跡の公有化は、史跡を適切に保存し、後世へ継承できる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	継続的に国指定史跡の公有化を進めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	土地所有者との交渉を進め、計画的に公有化を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	史跡を適切に保存し、次世代へ継承している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	計画的に公有化を図り、できるだけ早く史跡公園としての整備に着手できるよう努める。 また、公有化で一定のまとまりが確保できた土地については、活用方法を検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	市内に残された史跡等を適切に保存し、良好な形で次世代へ継承していくため、計画的に公有化を図ること。 また、史跡の歴史的価値を発信するとともに、地域振興や教育などの活用について引き続き検討すること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	700.00 733.00	900.00 237.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	当該年度の公有化予定地全体の公有化						
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	61.00 61.00	62.00 61.00	63.00 0.00	64.00 0.00	65.00 0.00	66.00 0.00	66.00 0.00
	指標説明	史跡全体に占める公有化率						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0037				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	二ノ宮尚樹
所属	2482	市民部埋蔵文化財調査センター		記入者	二ノ宮尚樹
事務事業番号	00798	埋蔵文化財調査センター管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画　第2期実行計画			
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します			
施策	017	歴史・文化遺産の保全・発信			
取組の方向性	002	歴史・文化遺産の情報発信			
事務事業	005	埋蔵文化財調査センター管理運営事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財調査センター条例				
事業概要	文化財保護法の規定に基づき、市内で発掘調査により出土した埋蔵文化財を適切に保管するとともに、市民の埋蔵文化財への関心を高め、理解を深めるため、各種講座、現地見学会や展覧会を開催する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	宅地開発等に伴い埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、出土品は増え続けており、現地調査後の早急な整理と報告書の刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。 多くの市民に埋蔵文化財への理解や関心を深めてもらうため、関係施設へのイベント参加に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	埋蔵文化財及び市民を対象に
目的(何のために)	埋蔵文化財の適切な保管とともに、埋蔵文化財への理解を深めるために
手段(どのようなやり方で)	埋蔵文化財を適切に整理・収蔵するとともに、各種講座、現地見学会や展覧会を開催し
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民が当館を訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	52,992	31,607	26,015	67,183	28,820	28,820	28,820
事業費	32,197	6,503	6,477	44,639	6,276	6,276	6,276
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	102	144	453	415	415	415	415
一般財源	32,095	6,359	6,024	44,224	5,861	5,861	5,861
人件費計	20,795	25,104	19,538	22,544	22,544	22,544	22,544
事務・技術（人）	1.20	0.28	0.26	0.28	0.28	0.28	0.28
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.00	2.00	1.50	2.00	2.00	2.00	2.00
会計年度任用（人）	1.85	3.60	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0037
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2482　市民部埋蔵文化財調査センター
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-85-57-00-06-00	埋蔵文化財調査センター管理運営事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00 14.00	14.00 18.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
(成果)参加・利用者数	人	1,700.00 1,839.00	1,700.00 1,966.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00 11.00	8.00 11.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種講座の開催等を通じて、埋蔵文化財への理解を深めている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	成果指標及び活動指標とも、目標に達している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学芸員の専門性を活かした事業に取り組んでおり、効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	埋蔵文化財を適切に整理・保存して次世代に継承している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	埋蔵文化財発掘調査の出土品を適切に保管できるよう努める。 発掘調査後の迅速な整理、報告や公開を継続するとともに、歴史文化遺産の学習機会の充実を図り、出前講座や関係施設へのイベント参加を含め積極的に取り組むことで、多くの市民に文化財への理解を深めてもらう。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	より多くの市民が当センターを訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、自分達が住んでいる地域への誇りと愛着が持てるよう理解を深める機会の拡充に努めること。なお、出土品については不足している保管場所について検討をすること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2482　市民部埋蔵文化財調査センター
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00 14.00	14.00 18.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	最新の調査成果の発表						
(成果)参加・利用者数	人	1,700.00 1,839.00	1,700.00 1,966.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00	1,700.00 0.00
	指標説明	講座・現地見学会・展覧会等への参加・利用者数						
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00 11.00	8.00 11.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	保存・活用の基礎となる発掘調査報告書の発刊数						

IP27P050

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0038				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	松田　直樹
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	渡邉　哲夫
事務事業番号	00840	社会体育施設管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	004　社会体育施設管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	(事業概要)市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るため、市民プール・市民運動広場・市民体育館・格技場・乗馬場・キャンプ場・ランニングコース・オリエンテーリングコースを設置している。また地域でのスポーツ振興を図るため、市立小学校36校の体育館と運動場、市立中学校10校の体育館を学校教育の支障のない範囲で開放している。学校開放の運営にあたっては、各学校に「学校体育施設開放運営委員会」を設置し管理運営を委託している。【令和4年度より事務事業番号839、845を統合】				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境)老朽した施設が増える中、市の財政状況や公共施設マネジメント等を考慮し、利用者が安全安心に利用できるよう計画的な維持管理が求められている。また、学校体育施設は地域の身近な体育施設として幅広い年代の市民から利用されており、スポ少等の地域団体だけではなくクラブチーム等の参加も増えている。 (見直しや改善等の経過)社会体育施設の計画的な保全を図るため、令和4年度に長寿命化計画（市民体育館）を策定した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会体育施設の管理運営を対象に
目的(何のために)	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るために
手段(どのようなやり方で)	指定管理等施設に応じた最適な管理運営手法をとることで
成果(どのような状態にするのか)	市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができ、運動・スポーツ実施率の向上が図られ、健康の保持増進に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	239,858	246,768	269,662	295,734	295,734	295,734	295,734
事業費	218,808	228,398	251,292	277,364	277,364	277,364	277,364
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	56,183	50,115	65,417	63,179	63,179	63,179	63,179
一般財源	162,625	178,283	185,875	214,185	214,185	214,185	214,185
人件費計	21,050	18,370	18,370	18,370	18,370	18,370	18,370
事務・技術（人）	2.50	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0038
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-21-00-01-00	スポーツ施設管理運営費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00 36.00	36.00 35.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
(活動)小・中学校開放校	校	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	384,000.00 344,359.00	384,000.00 326,753.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00
(成果) 学校体育施設運営業務の利用者数	人	816,000.00 657,242.00	816,000.00 667,065.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	社会体育施設を市民スポーツ活動に提供するのは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民の身近なスポーツ等の実施機会向上に寄与している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者等に委託し、実情にあった効率的な運営がされている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	令和５年度においては、体育館の改修工事に伴い利用人数が若干減少したが、改修工事期間中の一時的な減少と考えており、今後も、計画的に必要な工事・修繕を行い、利用者の拡大につなげていく。 市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興及び健康の保持促進を図るため、引き続き、市民ニーズを把握して、施設の適切な維持管理・運営を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	社会体育施設については、施設の状況を踏まえ、計画的な修繕・改修に努め、市民がより安全で安心して利用できる環境を整えるとともに、より効率的かつ効果的な運営ができるよう事業実施手法を検討し、生涯スポーツの普及を進めていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00 36.00	36.00 35.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	運動広場、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の施設の数						
(活動)小・中学校開放校	校	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
	指標説明	小学校・中学校開放校数【令和4年度より事務事業番号839統合のため新設】						
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	384,000.00 344,359.00	384,000.00 326,753.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00	384,000.00 0.00
	指標説明	運動広場、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の利用者数						
(成果) 学校体育施設運営業務の利用者数	人	816,000.00 657,242.00	816,000.00 667,065.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00	816,000.00 0.00
	指標説明	小学校（運動場、体育館）、中学校（体育館）の利用者数【令和4年度より事務事業番号839統合のため新設】						

IP27P050

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0039				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	松田　直樹
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	04181	生涯スポーツ推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	008　生涯スポーツ推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法、大津市スポーツ推進委員に関する規則				
事業概要	市民が、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができるよう、地域でのスポーツ指導やスポーツイベントの中心的な存在（コーディネーター）として活動する「大津市スポーツ推進委員」の育成を行うなど、地域や市民の運動・スポーツ活動に対する支援を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症により市民のスポーツへの関心や機運が低下傾向にあったが、感染症が一定収束したことに伴って、地域や各種団体のスポーツ活動が再開され、また、全国大会・世界大会もこれまでどおり開催されるようになったことから、スポーツに取り組む市民の活動を支援するとともに、機運醸成を図る必要がある。 （見直しや改善等の経過） スポーツ推進委員は、各学区の体育団体のみならず、大学や各種スポーツ団体等の推薦に加え、一般市民からの公募を行うなど、幅広い分野から参画をいただいている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	年齢や性別、障害の有無に関わらず、一生涯を通して、運動・スポーツ活動を行えるように
手段(どのようなやり方で)	地域スポーツの中核的な役割を担う「スポーツ推進委員」の育成や指導者向けの研修を行うなど、地域や市民の運動・スポーツ活動の支援を充実させることで
成果(どのような状態にするのか)	「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しめる環境をつくる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	9,189	9,016	9,058	9,073	9,376	9,365	9,365
事業費	6,459	6,286	6,402	6,389	6,646	6,635	6,635
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,459	6,286	6,402	6,389	6,646	6,635	6,635
人件費計	2,730	2,730	2,656	2,684	2,730	2,730	2,730
事務・技術（人）	0.35	0.35	0.32	0.34	0.35	0.35	0.35
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.05	0.01	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0039
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04181　生涯スポーツ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-11-00	生涯スポーツ推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)スポーツ推進委員　人数	人	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　実施回数	回	12.00 13.00	12.00 13.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　参加者数	人	2,000.00 3,314.00	2,000.00 2,219.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
(成果)指導者研修会参加者数	人	105.00 79.00	110.00 62.00	115.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	スポーツ推進委員はスポーツ基本法の規定により市が委嘱している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	指導者研修会の参加者は目標を達成していない			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	定期的に研修等を実施することは効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域・大学・行政と連携し、地域のスポーツ振興に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民が、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境をつくるためには、地域におけるスポーツ推進委員の活動は不可欠であり、今後より一層地域における生涯スポーツを推進するため、スポーツ推進委員の資質向上に向けた指導者研修会の開催や、市民が体を動かすきっかけ作りに繋がる自主事業を拡充できるよう支援していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	生涯スポーツ活動を推進するうえで、市民への実技指導や助言を行うスポーツ推進委員の活動は非常に重要な役割を担っている。今後、市内で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会やワールドマスターズゲームズ等の開催が予定されており、スポーツの機運が高まることから、これらに合わせて、スポーツ推進委員の自主事業をはじめとする生涯スポーツの普及に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04181　生涯スポーツ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)スポーツ推進委員　人数	人	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
	指標説明	大津市スポーツ推進委員の人数						
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　実施回数	回	12.00 13.00	12.00 13.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員協議会の主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催する主管事業の実施延べ回数						
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　参加者数	人	2,000.00 3,314.00	2,000.00 2,219.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員協議会の主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催する主管事業の参加者延べ人数						
(成果)指導者研修会参加者数	人	105.00 79.00	110.00 62.00	115.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員等の資質向上が図れる研修会への参加延べ人数						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0040				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	松田　直樹
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	04182	次世代のスポーツ推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	009　次世代のスポーツ推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	幼児期の子どもについて、遊びなどを通じた体力・運動能力の基礎づくりや、運動の楽しさを知る機会の提供を支援するとともに、小中学校の子どものスポーツ環境充実を図ることにより、子どもがスポーツを楽しみ、たくましく成長できるよう、子どもの運動・スポーツ活動への支援を充実させる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） スマートフォンの普及等により、テレビやゲーム、スマートフォンなどの画面を見る「スクリーンタイム」の増加が指摘されており、子どもの運動離れが急速に進んでいる。 （見直しや改善等の経過） 幼児期から楽しく体を動かす機会づくりや、ICTの活用等による時代に即した新たな運動・スポーツの取組みを行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子どもを対象に
目的(何のために)	大人になっても継続的に運動を続けることができるように
手段(どのようなやり方で)	幼少期における遊びを通した運動の機会の創出や、時代に即した新たな運動・スポーツの取組みを充実させることで
成果(どのような状態にするのか)	スポーツを楽しみ、たくましく成長できる環境を創出する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	6,592	6,746	7,611	7,972	10,017	9,217	11,479
事業費	4,018	4,406	5,451	5,536	7,581	6,781	6,781
国庫支出金	1,038	2,405	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,980	2,001	5,451	5,536	7,581	6,781	6,781
人件費計	2,574	2,340	2,160	2,436	2,436	2,436	4,698
事務・技術（人）	0.33	0.30	0.24	0.30	0.30	0.30	0.59
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.09	0.03	0.03	0.03	0.03
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0040
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04182　次世代のスポーツ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-12-00	次世代のスポーツ推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)幼少期運動プログラム　実施回数	回	1.00 1.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
(成果)幼少期運動プログラム　満足度	%	80.00 100.00	80.00 100.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
(活動)スポーツデータリテラシー向上プログラム　実施クラス数	クラス	10.00 10.00	10.00 13.00	10.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)スポーツデータリテラシー向上プログラム　運動寄与率	%	0.00 0.00	80.00 92.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	専門的な知見を有する事業者への委託は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子どもがスポーツを楽しめる環境の構築に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	効率的であるが、事業を拡大する場合は手法の見直しが必要			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもの運動・スポーツ活動の推進に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	これまでの事業実績から、幼少期の運動・スポーツ活動に対する市民ニーズが非常に高いことがわかったため、今後は事業規模を拡大するとともに、引き続き、スポーツデータリテラシー向上プログラムの事業改善を行うことで、子どもの運動・スポーツの支援充実に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	市民の健康維持・向上を図るには、子どもの頃から運動・スポーツの楽しさを感じ、運動習慣を身に付けることが非常に重要である。引き続き、時代に即した子どもの運動の機会づくりに取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04182　次世代のスポーツ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)幼少期運動プログラム　実施回数	回	1.00 1.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	幼少期運動プログラムの実施回数 １日に複数回実施した場合は、各回を計上する。						
(成果)幼少期運動プログラム　満足度	%	80.00 100.00	80.00 100.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	幼少期運動プログラムの参加者数 参加者アンケートの結果を反映						
(活動)スポーツデータリテラシー向上プログラム　実施クラス数	クラス	10.00 10.00	10.00 13.00	10.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	スポーツデータリテラシー向上プログラムの実施クラス数						
(成果)スポーツデータリテラシー向上プログラム　運動寄与率	%	0.00 0.00	80.00 92.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	（事業終了後のアンケート内容見直しに伴い、令和５年度実績より本指標に変更） 授業が運動の実施に寄与すると解答した割合　参加クラス（担任）へのアンケート結果を反映						
(成果)スポーツデータリテラシー向上プログラム　満足度	%	70.00 71.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	旧指標（事業終了後のアンケート内容見直しに伴い、令和５年度実績より本指標を廃止）						

事務事業評価シート（1／2）

令和 6年 9月18日

整理番号	0041				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	松田　直樹
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	04183	地域スポーツ活動推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	010　地域スポーツ活動推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	地域のスポーツ団体のスポーツ活動を支援するとともに、各種競技スポーツの活性化を図ることで、生涯スポーツや競技スポーツに取り組む人や団体が、スポーツにより取り組めるよう、地域でのスポーツ活動の支援を充実させる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症により市民のスポーツへの関心や機運が低下傾向にあったが、感染症が一定収束したことに伴って、地域や各種団体のスポーツ活動が再開され、また、全国大会・世界大会もこれまでどおり開催されるようになったことから、スポーツに取り組む市民の活動を支援するとともに、機運醸成を図る必要がある。 （見直しや改善等の経過） 大津市補助制度適正化基本方針に則った補助金の見直し及び大津市スポーツ協会への委託事業を共催化し、負担金事業への移行などを行った。また、激励金交付要綱の定期的な見直しや、SNS等を活用した周知PRを行うなど、時代に即したかたちで事業を行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生涯スポーツや競技スポーツに取り組む人や団体を対象に
目的(何のために)	地域でのスポーツ事業の活性化や競技力向上及び競技者の拡大を図れるように
手段(どのようなやり方で)	地域のスポーツ団体への補助金交付や事業の共催、大会出場者への激励金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	スポーツにより取り組むことができる支援の充実を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	40,732	27,612	26,489	30,234	30,598	30,458	30,458
事業費	38,161	24,394	23,593	27,182	27,518	27,378	27,378
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	600	600	0	0	0	0
一般財源	38,161	23,794	22,993	27,182	27,518	27,378	27,378
人件費計	2,571	3,218	2,896	3,052	3,080	3,080	3,080
事務・技術（人）	0.27	0.31	0.24	0.26	0.28	0.28	0.28
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.15	0.25	0.32	0.32	0.28	0.28	0.28
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0041
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04183　地域スポーツ活動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-13-00	地域スポーツ活動推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)補助金交付対象団体　団体数	団体	38.00 37.00	38.00 38.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00
(成果)補助金交付対象団体　主催事業数	事業	250.00 244.00	288.00 292.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00
(活動)激励金　交付件数	件	100.00 91.00	105.00 124.00	110.00 0.00	115.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
(成果)大津市スポーツ賞　表彰者数	人（団体）	20.00 21.00	25.00 34.00	28.00 0.00	32.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域スポーツ団体や全国大会等の出場者への補助金等交付は妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	全国大会等の出場者が増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体への補助や競技者への激励金交付・表彰は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域スポーツの活性化が生涯スポーツと競技スポーツ推進に繋がる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、地域や各団体の予算規模やニーズに合わせたスポーツ活動の再開に寄与することができた。また、全国大会等出場者への激励金交付件数やスポーツ成績優秀者数が、コロナ前の水準を上回るなど、競技スポーツの普及にも寄与している。引き続き、地域でのスポーツの振興に努めるとともに、令和７年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、競技スポーツの推進も図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学区体育団体等をはじめとした地域スポーツ活動の中心的役割を担う各種団体等に対し、継続的な支援を行い、市民のスポーツ活動の活性化に取り組むこと。また、激励金交付やスポーツ賞等の表彰を通し、令和７年度の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、選手の競技力向上と機運の醸成を図るなど、競技スポーツの推進も図っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04183　地域スポーツ活動推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)補助金交付対象団体　団体数	団体	38.00 37.00	38.00 38.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00
	指標説明	市内36学区体育団体、スポーツ協会、レクリエーション協会、学区体育団体連絡協議会 （スポーツ少年団への補助金交付は別の事務事業で実施しているため計上しない）						
(成果)補助金交付対象団体　主催事業数	事業	250.00 244.00	288.00 292.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00
	指標説明	市内36学区体育団体、スポーツ協会、レクリエーション協会、学区体育団体連絡協議会の主催事業数 （スポーツ少年団への補助金交付は別の事務事業で実施しているため計上しない）						
(活動)激励金　交付件数	件	100.00 91.00	105.00 124.00	110.00 0.00	115.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
	指標説明	激励金を交付した件数						
(成果)大津市スポーツ賞　表彰者数	人（団体）	20.00 21.00	25.00 34.00	28.00 0.00	32.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00	28.00 0.00
	指標説明	大津市スポーツ賞、大津市スポーツ奨励賞、大津市スポーツ特別賞の表彰者数 （個人数と団体数の合算）						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0042				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	松田　直樹
所属	2405	市民部スポーツ課		記入者	土井　淳嗣
事務事業番号	04185	大津の特長を活かしたスポーツ推進事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　スポーツの普及・振興				
取組の方向性	001　生涯スポーツの普及・振興				
事務事業	012　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	大津市の自然・歴史環境や、地域、大学、企業による特色あるスポーツ活動を活かした大津らしいスポーツの推進を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症により市民のスポーツへの関心や機運が低下傾向にあったが、感染症が一定収束したことに伴って、地域や各種団体のスポーツ活動が再開され、また、全国大会・世界大会もこれまでどおり開催されるようになったことから、スポーツに取り組む市民の活動を支援するとともに、機運醸成を図る必要がある。 （見直しや改善等の経過） 新型コロナウイルス感染症の収束にあわせ、各種事業の再開や、ｅスポーツ関連事業についてはｅスポーツだけでなくリアルスポーツと関連付けたイベントへの見直しを行うなどの対応を行ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各種団体や市民、本市で開催する大会の参加者を対象に
目的(何のために)	スポーツイベント等の誘致や、様々なスポーツ大会の機運を高めるために
手段(どのようなやり方で)	団体への負担金や補助金の交付、市民等へのスポーツ大会の啓発イベントを実施することで
成果(どのような状態にするのか)	本市の自然・歴史環境や、地域、大学、企業などの価値あるスポーツ資源を活かした、スポーツによる地域の活性化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,833	6,642	6,530	6,378	13,471	20,501	4,988
事業費	3,983	2,586	2,980	3,194	4,267	14,417	3,194
国庫支出金	2,154	750	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	433	800	0	0	0	0
一般財源	1,829	1,403	2,180	3,194	4,267	14,417	3,194
人件費計	5,850	4,056	3,550	3,184	9,204	6,084	1,794
事務・技術（人）	0.75	0.52	0.41	0.40	1.18	0.78	0.23
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.11	0.02	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0042
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04185　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-15-00	大津の特長を活かしたスポーツ推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)地域等と連携した大規模スポーツイベント　件数	件	1.00 3.00	1.00 2.00	1.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)地域等と連携した大規模スポーツイベント　参加者数	人	5,000.00 7,387.00	5,000.00 7,787.00	5,000.00 0.00	21,000.00 0.00	10,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00
(活動)負担金、補助金等交付イベント　件数	件	3.00 4.00	3.00 3.00	3.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)負担金、補助金等交付イベント　参加者数	人	2,500.00 3,676.00	2,500.00 2,545.00	2,500.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種団体への負担金の交付は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	有効であるが、今後、一部事業の見直しも必要である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体への負担金交付による事業の実施は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各種事業の実施が地域の活性化に効果的である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本市の特長を活かしたスポーツイベントを開催し、市民のスポーツに対する機運醸成を図るとともに、大津市の知名度向上や、まちの賑わいづくりに、引き続き努めていく。今後、世の中のニーズや事業の有効性等を踏まえたうえで、必要に応じて、事業の継続や見直しなどの検討も行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域や大学、企業等と連携し、まちの賑わいづくりに繋がるような、本市の特長を活かした事業を引き続き検討していくこと。また、事業効果や社会情勢等を踏まえたうえで、随時見直しを図っていくこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　04185　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)地域等と連携した大規模スポーツイベント　件数	件	1.00 3.00	1.00 2.00	1.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	朝日レガッタ、びわ湖マラソン大会などの件数						
(成果)地域等と連携した大規模スポーツイベント　参加者数	人	5,000.00 7,387.00	5,000.00 7,787.00	5,000.00 0.00	21,000.00 0.00	10,000.00 0.00	14,000.00 0.00	14,000.00 0.00
	指標説明	朝日レガッタ、びわ湖マラソン大会などの参加者数 （観客、大会関係者は含まない）						
(活動)負担金、補助金等交付イベント　件数	件	3.00 4.00	3.00 3.00	3.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	交付している大会件数						
(成果)負担金、補助金等交付イベント　参加者数	人	2,500.00 3,676.00	2,500.00 2,545.00	2,500.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00
	指標説明	交付大会への参加者数						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号	0043				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	乾　一彦
所属	1115	市民部戸籍住民課		記入者	辻尾　大樹
事務事業番号	01208	大津市営霊園管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034　公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001　公共施設等の適正化				
事務事業	004　大津市営霊園管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市営霊園条例及び同施行規則				
事業概要	（事業概要） 平成６年４月に市営霊園を開設し、平成１９年１０月に全ての区画（９６７区画）の使用者が決定した。現在は維持管理及び返還に伴う空き区画の募集を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 当霊園は市内唯一の市営墓地である。近年の墓地に対する市民意識は多様化していることから、墓じまい等による年間数か所の空き区画が発生するが、再募集時には多数の申込みがあり、需要は高い。 （見直しや改善等の経過） 墓地返還に伴う再募集については、平成３０年度までは年１回としていたが、平成３１年度は年２回、令和２年度は年３回、令和３～５年度は年２回実施し、空き区画数の状況により、募集回数の見直しを行ってきた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市内の墓地需要に対応するため
手段（どのようなやり方で）	１　使用者の公募（戸籍住民課及び市ホームページで募集要領の配布） ２　維持管理（年間：除草２回、清掃１０回、噴水清掃９回、剪定１回）施設修繕
成果（どのような状態にするのか）	空き区画の募集に伴う全区画利用、定期的な清掃、及び老朽化による施設の修繕により安心で快適な施設の維持管理が図られている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	12,146	11,030	18,182	10,596	10,596	10,596	10,596
事業費	8,876	6,350	13,502	5,916	5,916	5,916	5,916
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,923	6,350	4,984	4,984	4,984	4,984	4,984
一般財源	1,953	0	8,518	932	932	932	932
人件費計	3,270	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680
事務・技術（人）	0.30	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0043
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-44-00-01-00	大津市営霊園等管理運営事業費	市民部戸籍住民課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)維持管理回数 (除草・剪定・場内清掃・噴水清掃)	回	22.00 22.00	22.00 22.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
(活動)募集回数 (空き区画)	回	1.00 2.00	1.00 2.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
(成果)使用許可率 各年度（９月末現在）	%	100.00 57.00	100.00 41.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)使用率　年間 （３月末現在）	%	100.00 98.00	100.00 98.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の公用墓地に対する需要は高く妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	年間を通じて使用率が９８％以上であり、高水準を維持している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	清掃・除草業務等を業者に委託し、適切に維持管理を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	空き区画の再募集を行うことで、施設の使用率向上に努めている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	墓地に対するニーズが多様化している中、市営墓地の使用率は高い水準で推移している。 引き続き、適正な施設の維持管理に努めていくとともに、空き区画の募集にあたっては、市ホームページのほか石材店にもＰＲを依頼し申込みに繋げていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	施設の適正な管理運営を続けるとともに、多様化する墓地ニーズの把握に努め、空き区画の募集についても効果的に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)維持管理回数 (除草・剪定・場内清掃・噴水清掃)	回	22.00 22.00	22.00 22.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
	指標説明	(年間実施回数)除草２回、剪定１回、場内清掃１０回、噴水清掃９回						
(活動)募集回数 (空き区画)	回	1.00 2.00	1.00 2.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	返還に伴う空き区画募集（年１回）						
(成果)使用許可率 各年度（９月末現在）	%	100.00 57.00	100.00 41.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	使用許可件数／募集数						
(成果)使用率　年間 （３月末現在）	%	100.00 98.00	100.00 98.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00
	指標説明	使用区画数／全区画数(９６７区画)						

事務事業評価シート（1／2）

令和 6年 9月18日

整理番号	0044				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	岸本　宏
所属	1113	市民部消費生活センター		記入者	中島　隆
事務事業番号	00308	消費者啓発事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003　消費者トラブルへの対応				
事務事業	001　消費者啓発事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費者教育の推進に関する法律等				
事業概要	（事業概要） 消費者が主体的かつ合理的に行動できるよう、消費者の自立を支援するための知識の普及や情報の提供等の啓発活動と消費者教育を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） デジタル化の進展に伴い商品流通形態が変容する中、消費に関する被害やトラブルは多様化・複雑化しており、市民が被害に遭わないようにするためには、さらなる啓発や教育に努める必要がある。 （見直しや改善等の経過） 成年年齢１８歳引下げを踏まえ、未成年者における消費者教育を充実させるため、県教育委員会と本市の消費者教育における協力を定めた覚書を締結し、高校における講座を実施した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民の
目的（何のために）	消費生活の安定及び向上を図ることを目的に
手段（どのようなやり方で）	学校、地域、家庭その他様々な場を通じて消費生活に関する知識の普及、情報の提供等の教育啓発活動を推進するとともに、消費者の自主的な学習のための必要な支援を行うように努めることで
成果（どのような状態にするのか）	消費者が的確な価値判断能力及び適正な選択能力を有するようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	4,352	4,278	4,955	5,570	5,070	5,070	5,070
事業費	1,736	1,638	1,763	2,378	1,878	1,878	1,878
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	291	879	710	1,439	939	939	939
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,445	759	1,053	939	939	939	939
人件費計	2,616	2,640	3,192	3,192	3,192	3,192	3,192
事務・技術（人）	0.24	0.24	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.24	0.24	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

IP27P040

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0044
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-03-00	消費者啓発事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	20.00 20.00	20.00 39.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	600.00 2,757.00	2,200.00 3,626.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消費者安全法及び消費者教育の推進に関する法律に基づくため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	消費生活講座の回数や参加人数の実績が目標値を上回ったため。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体や学校を通じて幅広い世代を対象に講座を実施したため。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	講座回数や参加人数が目標を達成したため。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	消費者被害の防止に向け、相談の多い高齢者をはじめ幅広い世代を対象とした講座等を実施するとともに、学校とも連携し、中・高校生及び学校教員を対象とした講座等、消費者教育の推進を図る。 また、相談の多い事案を随時、大津市公式LINEやホームページに掲載するなど、注意喚起による市民への啓発にも努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	消費者被害の防止に向け、相談の多い高齢者をはじめ幅広い世代を対象とした講座等を実施するとともに、継続して中・高校生を対象とした消費者教育に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	20.00 20.00	20.00 39.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	主催講座４回・地域出前等４回　高校講座１２回(市内県立高校１２校)						
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	600.00 2,757.00	2,200.00 3,626.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00
	指標説明	講１００(２５人×４回)・出１００(２５人×４回)・高校２０００(一学年)　計２２００人						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0045				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	岸本　宏
所属	1113	市民部消費生活センター		記入者	中島　隆
事務事業番号	02064	消費生活相談事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022　防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	003　消費者トラブルへの対応				
事務事業	003　消費生活相談事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費生活条例、消費生活センター条例				
事業概要	（事業概要） 消費に関する被害やトラブルの相談に国家資格である消費生活相談員の資格を有する職員があたる。相談内容は、助言、情報提供、あっせん又は専門機関の紹介等の方法で処理される。 また、相談内容は、相談員が全国消費生活ネットワーク・システムに入力（登録）することで、国、県、関係機関等とも情報連携されている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） デジタル化の進展に伴い商品流通形態が変容する中、消費に関する被害やトラブルは多様化・複雑化しており、消費者からのこれら相談に対応するためには、更なる相談体制の充実が求められる。 （見直しや改善等の経過） 相談員の員数を維持するとともに、知識や技術の向上を図るため、相談員の研修機会の充実に努めた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民の
目的（何のために）	消費生活の安定及び向上を図ることを目的に
手段（どのようなやり方で）	消費生活相談員による消費生活相談の事務を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	消費者の権利が尊重されている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	21,421	21,099	21,399	25,327	21,709	21,709	21,709
事業費	2,382	1,471	1,541	5,469	1,851	1,851	1,851
国庫支出金	0	97	0	0	0	0	0
県支出金	1,013	644	638	2,750	925	925	925
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,369	730	903	2,719	926	926	926
人件費計	19,039	19,628	19,858	19,858	19,858	19,858	19,858
事務・技術（人）	0.10	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	5.89	5.89	5.84	5.84	5.84	5.84	5.84
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0045
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-04-00	消費生活相談事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談件数	件	2,500.00 2,738.00	2,500.00 2,580.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00 96.05	95.00 95.70	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消費者基本法等の法律に基づく市民に寄り添った相談体制のため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標値相当以上の消費者相談を解決したため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	国家資格である消費生活相談員を配置し、解決にあたっているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	消費者トラブルの防止に向けて、相談体制が有効に機能したため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	デジタル化の進展に伴い商品流通形態が変容する中、多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、消費生活相談員の体制を維持しつつ、相談員への研修等を通じ、知識・技術の向上を図るとともに、専門家の積極的な活用として弁護士等による支援を強化し、適切な対応に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	デジタル化の進展に伴い商品流通形態が変容する中、多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、消費生活相談員の配置体制を維持しつつ、相談員への研修等を通じ、知識・技術の更なる向上を図ること。 また、関係機関と相互の連携を図り、より効果的な相談対応ができるように努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 6年 9月18日

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談件数	件	2,500.00 2,738.00	2,500.00 2,580.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	年間相談件数						
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00 96.05	95.00 95.70	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	（助言（自主交渉）＋その他情報提供＋あっせん解決＋他機関紹介）÷相談件数×１００						

事務事業評価シート（1／2）

整理番号	0046				
評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了	所属長名	木津　勝
所属	2451	市民部歴史博物館		記入者	宮崎　敬二
事務事業番号	00785	博物館管理運営事業			

【基本情報】

総合計画	03　大津市総合計画　第2期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017　歴史・文化遺産の保全・発信				
取組の方向性	002　歴史・文化遺産の情報発信				
事務事業	003　博物館管理運営事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例				
事業概要	（事業概要） 博物館の目的である各種資料の収集・保管・調査研究及び公開に係る諸事業を円滑に実施し、市民に快適な展示環境を提供することが管理運営事業の根幹である。そのため施設のメンテナンスやコンピュータの保守などを本事業で実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域や個人で守られてきた文化財の継承が困難となり、当館への寄託・寄贈の案件も増えてきている。文化財を安全に収蔵するためにも、また来館者が快適に観覧するためにも施設の維持管理が重要である。 （見直しや改善等の経過） 施設の経年劣化を避けるためにも、計画的な修繕が必要であり、予算の許す範囲で手を尽くしている。令和５年度は、空調機器の修理や展示室の照明LED化工事を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	博物館施設を
目的（何のために）	文化財が適切に収蔵・公開できる環境を整えるとともに、来館者に快適な環境で鑑賞と展示活動ができるように
手段（どのようなやり方で）	資料の保存を図りながら、適切な管理運営や適宜修繕等を行い
成果（どのような状態にするのか）	来館者が安全かつ快適に鑑賞できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	133,176	220,939	196,770	192,257	262,140	192,257	291,895
事業費	91,926	179,239	152,490	147,977	217,860	147,977	247,615
国庫支出金	0	5,416	17,100	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	70,500	17,500	4,000	4,000	4,000	4,000
その他	5,084	6,200	5,906	6,200	6,200	6,200	6,200
一般財源	86,842	97,123	111,984	137,777	207,660	137,777	237,415
人件費計	41,250	41,700	44,280	44,280	44,280	44,280	44,280
事務・技術（人）	3.50	3.50	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

整理番号　0046
評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-86-50-00-01-00	博物館管理運営事業費	市民部歴史博物館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)開館日数	日	300.00 295.00	300.00 292.50	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
(活動)企画展示室貸室件数	件	38.00 25.00	38.00 28.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00
(成果)常設展示観覧者数	人	21,000.00 18,282.00	21,000.00 19,425.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	39,000.00 26,819.00	39,000.00 37,433.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	文化財を適切に収集保管し、適宜展示公開をする必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標値には達していないが、貸室件数、入場者数ともに増加した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	キャッシュレス決済の導入により、会計事務を効率化できた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大津の多様な歴史文化に親しむ場として提供している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	令和５年度の来館者数について、来館者数は常設展示観覧者数、貸室入場者数ともに目標値には達していないものの増加した。背景には新型コロナウィルス感染症が５類感染症へ移行したほかに、常設展示観覧者数については大河ドラマの放映にあわせて常設展示の一部を改修し特集展示「源氏物語と大津」を令和６年１月から開始したことも影響の一つと考えられる。また企画展示室貸室入場者数については、大河ドラマ関連のパネル展(「どうする家康」と「光る君へ」)や坂本城跡の水中考古学的調査の展示を行ったことも影響の一つと考えられる。今後は老朽化した箇所について計画的に修繕を行い、施設を適切に維持管理していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	利用者の方々が安全かつ快適に観覧できるよう、博物館施設の計画的な改修や修繕と資料の適切な保存に努め、より多様な大津の歴史と文化の発信に努めること。		

事務事業評価指標一覧

評価年度　令和 5年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
総合計画　03　大津市総合計画　第2期実行計画
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)開館日数	日	300.00 295.00	300.00 292.50	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	博物館の開館日数						
(活動)企画展示室貸室件数	件	38.00 25.00	38.00 28.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00
	指標説明	企画展示室Ａ・Ｂの貸室の件数						
(成果)常設展示観覧者数	人	21,000.00 18,282.00	21,000.00 19,425.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00
	指標説明	常設展示室の年間観覧者数						
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	39,000.00 26,819.00	39,000.00 37,433.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00
	指標説明	貸しギャラリーの観覧者数						